



滋賀県議会議員

奥村よしまさ

Okumura Yoshimasa Kensei Report

県政レポート

Vol.36

平成28年4月 発行



過日、村尾慎哉 抱括外部監査人より平成27年度の
結果報告書を受け取りました。

監査委員として平成27年度の 監査結果を知事に報告しました。

去る3月15日に監査結果報告会が行なわれ、平成27年度に実施した監査結果を知事に報告いたしました。紙面制約上、その内の「行政重点監査」と「財政的援助団体等の監査」について一部を抜粋して掲載いたします。

行政重点監査は、財務以外の事務の執行について行う監査で、年度毎にテーマを決め定期監査とは別に実施しているものです。今回は「行政処分の適正執行について」監査を行いました。財政的援助団体等の監査は、県が1/4以上の出資等を行なっている団体、県が補助金等の財政的援助を与えている団体、公の施設の指定管理者等を対象とする監査で、毎年対象団体を選定して実施しているものです。

（監査結果の詳細は滋賀県ホームページの監査委員のページでご確認いただけます。<http://www.pref.shiga.lg.jp/l/kansa/>）

行政重点監査結果について

◆滋賀食肉センターの収支改善とガバナンスの強化 （公益財団法人滋賀食肉公社、株式会社滋賀食肉市場）

滋賀食肉センターを構成する県出資法人の公益財団法人滋賀食肉公社（以下：公社）、株式会社滋賀食肉市場（以下：市場）については、開業以来の単年度赤字や資金不足はもとより、市場においては累積赤字による債務超過状態であるなど、深刻な経営状況にあります。

こうした中、平成27年11月の「滋賀食肉センター経営研究会」の中間報告では、県と公社・市場に対し下記の改善を求めています。

【県に対し】

- ・生産基盤の拡大による県内肉用牛の増頭対策や近江牛のブランド価値の向上
- ・PR、新たな販路拡大等による消費拡大策 など

【公社・市場に対し】

- ・経営改善努力の不足・ガバナンスの欠如や、
県からの短期貸付による経営上の危機感の欠如などの改善

つては、同センターには下記項目について、収支改善に向けて公社・市場が協力して取り組むとともに、役員会の機能強化および経営体制の強化など、ガバナンスの強化に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

- ・衛生面の強みの積極的なPRによる近江牛の高付加価値化により、国内消費の拡大はもとよりインバウンド対策、輸出推進等による新たな販路の開拓
- ・稼働率向上のため県内外からの集畜や市場活性化のためのセリ上場比率の向上
- ・買参人の拡大と畜技術の向上
- ・営業形態の見直しや光熱水費の低減等による経費のさらなる削減など



監査結果の知事報告（平成28年3月15日）

財政的援助団体等の監査結果について

◆道路占用許可の適切な運用について （長浜土木事務所および道路課）

道路占用許可の更新漏れへの対応について

道路占用許可について、平成23年度から同事務所において、道路占用許可台帳に基づき占用許可の更新状況を調査したところ、449件の未更新事例が確認されたため、占用者に対して許可の更新等の手続が進められ、相当改善されてきましたが、平成26年度末で、44件が未更新として残る状況が見受けられました。

原因の多くは、市町村合併の際の手続漏れとのことであるが、道路占用許可台帳に基づき、許可期間が満了した案件についてもう少し踏み込んで対応されていれば防げた問題です。

今後、道路占用許可台帳の厳格な管理ができる体制を構築し、許可期間が満了した案件においても適切に管理し、不法占用状態の早期解消に努めるとともに、占用許可が切れてから改めて許可されるまでの間の占用料相当額について、適切な請求に努めていただきたいと思います。

事務処理マニュアルの策定について

台帳管理の手法、事務処理手順については、各土木事務所に任されており、県全体で統一したものが定められていないということです。県全体で確実に道路占用許可台帳が整備され、占用許可更新が漏れなく実施されていることを確認していただくとともに、管理方法のマニュアル化等についても検討していただきたいと思います。



この一年、監査委員として県庁各組織及び出先機関に加え、県立高校、警察組織等の定期監査に参加しました。これらの監査業務を通じて、改めて県の組織のあり方や予算の流れ等に触れ、新たな問題に気付かされることがありました。今後、滋賀県のさらなる発展のためにも、この経験を活かし様々な視点で滋賀県政を質していきたいと思います。



滋賀県議会議員
県議会 議会選出監査委員
政策・土木 常任委員会 委員

自民党滋賀県支部連合会
総務副会長
第三選挙区 幹事長代理

奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077- 562- 4841

活動日記毎日更新中!

<http://www.genki-shiga.jp>

facebookも
チェック!→

奥村芳正

携帯でも
発信して
います!→

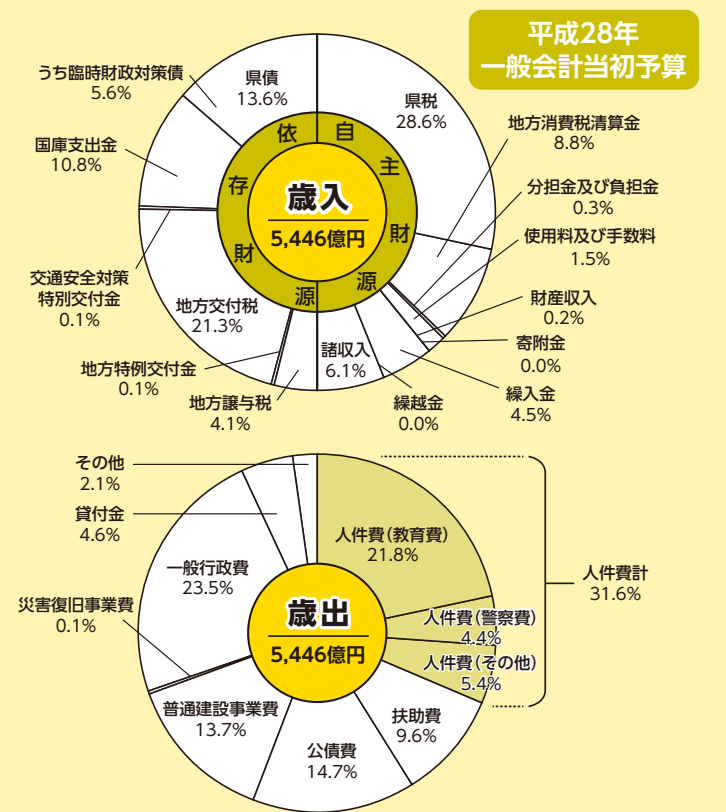


平成28年度滋賀県一般会計予算案が可決されました。

- 県税は、景気の回復傾向を反映し4年連続の増加。
- 地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税は減少。一般財源総額についても前年度を下回る見込み。
- 社会保障関係経費などの裁量が少ない経費が増加。
- 臨時財政対策債を除く実質的な県債は、発行額は5年ぶりに減少し、残高も減少傾向。
- 財源調整的な基金については、活用により残高は減少するが、一定額は確保。
- プライマリーバランスは当初予算残比較で2年連続で黒字を維持。
- 地方消費税の税率引き上げによる増収分は、社会保障の充実に活用。

予算規模 ※企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。

一般会計	5,446億円	(対前年度当初比 60億円増 +1.1%)
特別会計	2,261億円	(対前年度当初比 104億円増 +4.8%)
企業会計	374億円	(対前年度当初比 19億円減 ▲5.0%)



平成27年度補正「地方創生加速化交付金」が内示されました。

国が一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として創設した「地方創生加速化交付金」の交付金額が3月18日に内示されました。滋賀県においては12事業で合計7億297万3千円の申請額に対し、合計7億270万3千円(−27万円)の満額に近い内示額となっています。

今後この交付金を活用し、対象事業が進められる予定ですが、滋賀県の活性化のために、しっかりと予算以上の結果を出して、県民に還元していかななくてはならないと思います。監査委員という立場からも今後の進展と結果に注目してまいりたいと思っています。

交付対象事業名	国内示額	申請額	差額
ウォーターバレー滋賀・水環境ビジネス推進事業	49,000	49,000	0
次世代のための成長産業創出プロジェクト	123,820	123,820	0
観光で豊かな滋賀づくり(滋賀版DMO)推進事業	189,255	189,255	0
「山〜里・まち〜湖」移住促進プロジェクト	39,815	39,815	0
人材確保・働き方改革プロジェクト	72,468	72,468	0
「忍者」のマーケティング・セールス推進事業	20,000	20,000	0
自転車による琵琶湖一周「ピワイチ」による「体験型観光ネックレス」創造事業	97,476	97,746	△270
忍者列車で行く!草津線沿線の魅力を活かした公共交通利用促進・地域活性化事業	50,000	50,000	0
近江に根ざして120年・「近江鉄道」沿線魅力再発見・創出事業	4,000	4,000	0
「いいね!地方の暮らしフェア」開催事業	5,000	5,000	0
プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	39,869	39,869	0
地域創生のための経済分析・活用支援事業	12,000	12,000	0
合 計	702,703	702,973	△270

草津市関係の平成28年度当初予算の取り組み(道路・河川・砂防)

【道路課所管事業】	◆補助道路整備事業(改築)〈道路の拡幅、バイパス整備、橋梁やトンネル工事などを行う事業です。〉	
	大津能登川長浜線 馬場・上砥山	用地取得を推進(土地開発公社)、詳細設計〈新設・バイパス〉
	栗東志那中線 穴村・新堂	改良工事を推進〈現道拡幅〉
	◆補助道路修繕事業(主要事業のみ)〈のり面の災害防除工事や舗装、トンネル、橋梁の修繕を行う事業です。〉	
	草津守山線他 川原橋他	前年度に引き続き橋梁修繕設計、修繕工事を実施〈橋梁修繕〉
	◆単独道路改築事業〈道路の拡幅、バイパス整備、橋梁やトンネル工事などを行う事業です。〉	
【流域政策局所管事業】	大津能登川長浜線 山手幹線	地元対策工事を推進〈新設・バイパス〉
	下笠大路井線 大路	改良工事を推進〈現道拡幅〉
	◆補助河川環境整備事業(改修)	
	琵琶湖(平湖・柳平湖) 草津市志那町	護岸工事を実施
	◆補助河川総合流域防災事業(改修)	
	北川 草津市野路1丁目	護岸工事を実施
	琵琶湖(草津地区) 草津市沖	水草刈取を実施
	◆単独河川改良事業(改修)	
	草津川 草津市青地町他	護岸工事を実施
	◆単独河川改良事業(堤防強化)	
草津川(堤) 草津市馬場町他	堤防強化対策を実施	
◆みずべ・みらい再生事業(維持管理)		
管内一円	治水上支障となる箇所について、緊急性の高いところから順次対応	

栗東水口道路が開通

これまで工事が進められていた「栗東湖南IC」と、同ICに接続するバイパス「栗東水口道路」が3月19日に同時開通しました。名神高速道路の栗東インター近くの国道1号交差点は渋滞が慢性化していましたが、開通により国道1号上の渋滞の大幅な緩和が期待できます。

